

## 「スズメを撮る」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

スズメは、都会かた山間部までどこにでもいる野鳥だ。ハタオリドリ科と近縁(同じスズメ上科に属する)にあたる。そのせいか、ハタオリドリと同じように、建物のすき間につぼ巣のような形に営巣する。稀に人の架けた巣箱にも営巣するが、その中にまでつぼ型の巣を造る性質がある。スズメは人間の生活と深く関わっているが、非常に警戒心が強く、至近距離できれいに撮影することは、意外にも難しい。北軽井沢にもスズメはいるが、東京ほど個体数が多くなく、山荘にもめったにやっこない。山荘にはバードテーブル(野鳥の餌台)があるが、シジュウカラなどの野鳥がいて、まずスズメは来ない。他の野鳥に対しても警戒心があるようだ。

野鳥自動撮影カメラにも、スズメが写ることは非常に稀で、今まで撮影した約8万枚の中でも、10回以下の頻度だった。しかし、運よく写ったスズメの画像を見て、驚いた。羽毛も顔も非常に美しい。「スズメの再発見」をした気分だった。



「スズメ」 *Passer montanus*

北軽井沢 / 栗平 デジタル一眼レフの「野鳥自動撮影カメラ」で撮影した、非常に貴重な一枚。